

「次世代郊外まちづくり」の2013年度リーディングプロジェクトの一つ

## 「家庭のエコ診断」を実施します

### ■趣旨

横浜市と東京急行電鉄株式会社（以下、東急電鉄）は、平成24年4月18日に締結した「次世代郊外まちづくり\*」の推進に関する協定に基づき、第1号のモデル地区「たまプラーザ駅北側地区（横浜市青葉区美しが丘1～3丁目）」において、共同で取組を進めています。

その中で、生活者中心のスマートコミュニティの構築をめざして、民間企業等が参加する「スマートコミュニティ推進部会」（以下、推進部会）を立ち上げています。

このたび、横浜市と東急電鉄は、推進部会に参加する企業の皆様と協力し、「次世代郊外まちづくり」2013年度リーディングプロジェクトの一つとして、9月7日（土）、26日（木）、27日（金）の3日間、たまプラーザテラス プラーザホールで「家庭のエコ診断」を実施します。

また、これに伴い、8月1日（木）から専用サイト（<http://jisedaikogai.jp/ecoshindan/>）で参加者を募集します。

「家庭のエコ診断」は、推進部会が、環境省の「平成25年度家庭エコ診断推進基盤整備事業 民間企業等試行実施事業」の委託により実施するもので、専門的な知識を持った診断員が、無料でご家庭のエネルギー使用状況を診断し、ライフスタイルに合わせたオーダーメイドの省エネ対策を提案するものです。

この診断により、ご家庭で使われている電気機器やガス機器などのエネルギー使用量が「見える化」できると共に、各ご家庭に合った無理なく効果的に省エネを進めるためのメニューを知ることができます。

平成25年6月20日（木）より、先行実施している「家庭の節電プロジェクト」と連動し、地域の節電・省エネルギーのさらなる意識向上を目指します。

\* 「次世代郊外まちづくり」は「既存のまちの持続、再生」を目的に、地域住民、行政、大学、民間事業者の連携、協働によって「暮らしのインフラ」と「住まい」を再構築し、少子社会、高齢社会の様々な課題を一体的に解決していくことを目指していく、参加型、課題解決型のまちづくり手法で進めるプロジェクトです。

この取組は、横浜市が推進している「環境未来都市計画」の主要な取組である「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」に位置づけています。



### お問い合わせ先

温暖化対策統括本部環境未来都市推進課担当課長	林 千賀	Tel 045-671-2336
建築局企画課長	鈴木 和宏	Tel 045-671-3627
東京急行電鉄株式会社 社長室広報部 森田・柳澤・田中・長谷		Tel 03-3477-6086

報道関係者 各位

「次世代郊外まちづくり」の 2013 年度リーディングプロジェクトの一つ

## 「家庭のエコ診断」を実施します。

専門的な知識を持った診断員が、無料でご家庭のエネルギー使用状況を診断します。

横浜市と東京急行電鉄株式会社（以下「東急電鉄」という。）は、次世代郊外まちづくりのモデル地区である東急田園都市線たまプラーザ駅北側地区（横浜市青葉区美しが丘 1・2・3 丁目）にお住まいの方を対象に、9 月 7 日（土）、26 日（木）、27 日（金）の 3 日間、たまプラーザテラス プラーザホールで「家庭のエコ診断」を実施します。また、これに伴い、8 月 1 日（木）から専用サイト (<http://jisedaikogai.jp/ecoshindan/>) で参加者を募集します。

「家庭のエコ診断」は、専門的な知識を持った診断員が、無料でご家庭のエネルギー使用状況を診断し、ライフスタイルに合わせたオーダーメイドの省エネ対策を提案するものです。この診断により、ご家庭で使われている電気機器やガス機器などのエネルギー使用量が「見える化」できると共に、各ご家庭に合った無理なく効果的に省エネを進めるためのメニューを知ることができます。

本取り組みは、「次世代郊外まちづくり基本構想」に基づき、2013 年度に取り組む 8 つのリーディングプロジェクトの一つとして、スマートコミュニティ推進部会（※1）に参加する各社の協力を得て実施するもので、各家庭での節電から地域全体での節電・省エネ意識の向上を目的としたネガワットキャンペーン（※2）の一つとして位置づけています。ご家庭のエネルギー使用量の本格的な削減につながると共に、実施中の「家庭の節電プロジェクト（※3）」と連動させることにより、地域の節電・省エネルギーのさらなる意識向上を目指し、将来的な「町内まるごと見える化」に繋げていきます。

「家庭のエコ診断」の概要は、別紙のとおりです。

### ※1 スマートコミュニティ推進部会

「次世代郊外まちづくり」の主要な取組として、快適かつ省エネルギーな街づくりを目指し、既成市街地における生活者中心のスマートコミュニティ化を目的に、横浜市と東急電鉄が民間企業等と共同で平成 24 年 12 月に設置した部会。

### ※2 ネガワットキャンペーン

ネガワット (Negawatt power) とは負 (ネガティブ) の電力 (ワット) を意味する造語で、節電・省エネにより余剰となった電力を、創エネしたこと (ポジワット) と同等にみなす考え方。電力会社の電力供給量が一定とすると、電力使用量を減らすことは、他で使える電力を増やすという意味でもあり、発電するのと同じ効果と考えることができる。

### ※3 家庭の節電プロジェクト

各家庭での節電の達成状況に応じて、たまプラーザ駅周辺の商業施設や商店街で使える地域通貨「次世代郊外まちづくりポイント (単位: プラ)」をプレゼントする取り組み。参加受付期間は、6 月 20 日 (木) から 8 月 31 日 (土) まで。将来的な「町内まるごと見える化」に繋げるとともに、地域通貨の発行を通じて周辺施設や商店街への来店を促し、地域経済活性化の施策としての検証も行う。

お問い合わせ先

横浜市 温暖化対策統括本部環境未来都市推進課担当課長	林 千賀	Tel 045-671-2336
建築局企画部企画課長	鈴木 和宏	Tel 045-671-3627
東京急行電鉄株式会社 社長室広報部	森田・柳澤・田中・長谷	Tel 03-3477-6086

## (別紙) 家庭のエコ診断の概要

### 1. 目的

- (1) 「家庭の節電プロジェクト」と同時連動することにより、地域の節電・省エネルギーの機運を高める
- (2) スマートコミュニティの構築に向け、家庭へのHEMS (Home Energy Management System) 機器の早期導入の呼び水として、エネルギー使用状況の見える化を提供する

### 2. 診断概要

- (1) 参加受付期間 平成25年8月1日(木)から9月17日(火)まで  
(受付は先着順です。予定件数に達した場合は、受付期間終了前でも受付を終了します。)
- (2) 診断実施日 平成25年9月7日(土)、26日(木)、27日(金)  
(予約状況によっては、実施日を追加する場合があります。)
- (3) 診断会場 たまプラーザテラス プラーザホール by iTSCOM (田園都市線「たまプラーザ」駅徒歩2分 たまプラーザテラスゲートプラザ北側2階)
- (4) 診断予定件数 120件
- (5) 参加特典 診断を受診し、事後調査までご協力いただいた方には、1,000円分のQUOカードをプレゼントします。

### 3. 対象者

以下、2つの参加条件をすべて満たした方が対象となります。

- (1) モデル地区 (横浜市青葉区美しが丘1・2・3丁目)にお住まいの方
  - ・上記の地域内に居住の方に限ります (店舗は除く)。
  - ・上記対象地域以外の方は参加いただけません。また、同一世帯の複数参加はできません。
- (2) インターネットに接続できる方
  - ・専用サイト (<http://jisedaikogai.jp/ecoshindan/>) にパソコンから接続し、事前登録していただく必要があります。
  - ・Eメールアドレス (携帯電話・PHSは対象外) をお持ちの方が対象です。

### 4. 申込から診断までの流れ

<STEP1> 受診の申し込み (診断10日前まで)

- ・「家庭のエコ診断プロジェクト」web サイト (<http://jisedaikogai.jp/ecoshindan/>) のご案内に沿って、受診者IDを取得していただきます。(お名前、住所、電話番号、Eメールアドレスの入力が必要です。)
- ・メールのご案内に沿って、web サイト上で診断日程を予約していただきます。

<STEP2> 事前準備 (診断1週間前まで)

- ・光熱費やライフスタイルなどに関するアンケートにweb サイト上でお答えいただきます。

<STEP3> 診断の受診 (受診当日)

- ・次世代郊外まちづくりスマートコミュニティ推進部会から選抜され、一般社団法人地球温暖化防止全国ネットの認定を受けた「うちエコ診断員」が、たまプラーザテラス プラーザホールにて、1家庭につき約1時間ほどお話を伺いながら診断を行います。
  - ①事前アンケートに基づき、診断ソフトを用いて、ご家庭のエネルギー使用量などを平均的な世帯との比較やランキング情報でわかりやすくお見せします。
  - ②ご家庭のどこでどのくらいエネルギーが使われているのか、一緒に検証します。
  - ③各ご家庭に合わせて、オーダーメイドの省エネ対策を提案し、省エネ効果や光熱費の削減効果を一緒に考えます。

<STEP4>事後調査 (診断3カ月後)

- ・ 診断の際にご提案した内容の実施状況などをお伺いするため、web サイト上でアンケートにお答えいただきます。
- ・ ご回答いただいた方に1,000円分のQUOカードをプレゼントします。

## 5. 実施体制

**【実施者】**

次世代郊外まちづくりスマートコミュニティ推進部会

（ イッツ・コミュニケーションズ株式会社、JX日鉱日石エネルギー株式会社、東急建設株式会社、  
東京ガス株式会社、東京急行電鉄株式会社 ）

**【協 力】**

横浜市

## 6. お客様のお問い合わせ先

次世代郊外まちづくり 家庭のエコ診断実行委員会事務局

Tel 045-909-5597

e-mail [jisedai@tkk.tokyu.co.jp](mailto:jisedai@tkk.tokyu.co.jp)

お問合せ時間 10:00~17:00 (土・日・祝日、年末年始を除く)

専用サイト <http://jisedaikogai.jp/ecoshindan/>

※「家庭のエコ診断」は、次世代郊外まちづくりスマートコミュニティ推進部会が、環境省の「平成25年度家庭エコ診断推進基盤整備事業 民間企業等試行実施事業」の委託により実施するものです。

以 上

## <参 考>

### 「次世代郊外まちづくり」・・・

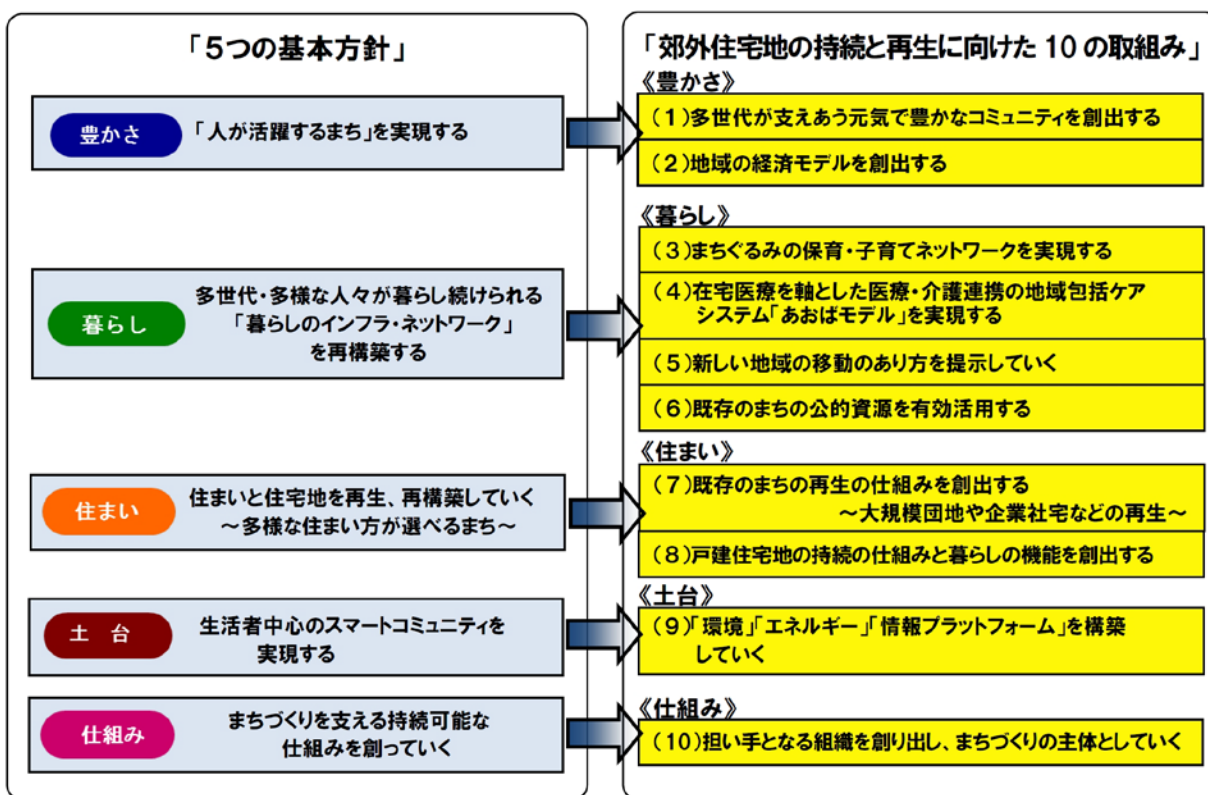
次世代郊外まちづくりは、「既存のまちの持続、再生」を目的に、地域住民、行政、大学、民間事業者の連携・協働によって「暮らしのインフラ」と「住まい」を再構築し、少子社会、高齢社会のさまざまな課題を一体的に解決していくことを目指していく、従来にない参加型・課題解決型のまちづくり手法を進めるプロジェクトです。横浜市が推進している「環境未来都市」計画において、超高齢化対応の主要な取り組みである「持続可能な住宅地プロジェクト」として位置付けています。

### 「モデル地区」・・・

次世代郊外まちづくりでは、東急田園都市線たまプラーザ駅北側地区（横浜市青葉区美しが丘1・2・3丁目）を第1号のモデル地区と定めています。

### 「次世代郊外まちづくり基本構想2013 - 東急田園都市線沿線モデル地区におけるまちづくりビジョン -」 「リーディングプロジェクト」・・・

「次世代郊外まちづくり基本構想」は、モデル地区におけるこれまでの討議や検討成果などを2013年度版として取りまとめたもので、6月19日に横浜市長から発表しました。横浜市内の東急田園都市線沿線の郊外住宅地において、「産・学・官・民」が連携して、良好な住宅地とコミュニティの持続・再生を目指すまちづくりに取り組んでいくためのビジョンとして、「5つの基本方針」、「10の取り組み」、そして今年度に取り組む「8つのリーディングプロジェクト」を策定しています。



基本構想の実現に向けた第1歩 次世代郊外まちづくりリーディング・プロジェクト（2013）

1 住民創発プロジェクト - シビックプライドプロジェクト -	10の取組（1）
2 住民の活動を支える仕組みと場づくり	10の取組（10）
3 家庭の節電プロジェクトとエコ診断	10の取組（9）
4 まちぐるみの保育・子育てネットワークづくり	10の取組（3）
5 地域包括ケアシステム「あおばモデル」パイロットプロジェクト	10の取組（4）
6 暮らしと住まいのランドデザイン（素案）の策定	10の取組（7）
7 「コミュニティ・リビング」モデル・プロジェクト - 企業社宅などの土地利用転換時における土地利用誘導 -	10の取組（7）
8 「次世代郊外まちづくり」建築性能推奨スペック策定 - 建物や施設に求められる性能や機能、建築推奨指針づくり -	10の取組（7）

「次世代郊外まちづくり」の詳細は、ホームページ (<http://jisedaikogai.jp>) をご覧ください。

以 上